

ズワイガニ資源 雌雄とも5か年平均上回る ～ズワイガニの漁期前資源調査の実施結果について～

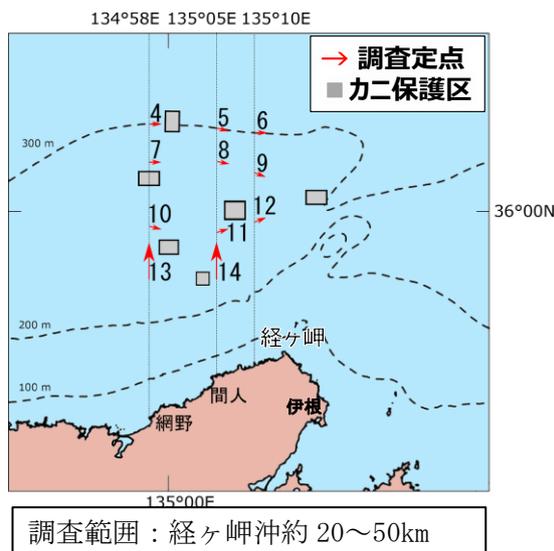
- ・海洋センターでは、毎年漁期前の8～9月に府沖合でズワイガニ資源調査を実施しています。今年の調査では、直近5か年平均を雄雌ともに上回る結果となりました。（雄ガニ：156%、雌ガニ：184%）。
- ・カニ解禁日（11月6日）には、漁業巡視艇「らくよう」で巡視を行っており、乗船して漁の様子を取材いただけます。

1 ズワイガニ資源調査の結果概要

(1) 調査の概要

京都府沖合のズワイガニ漁場（水深230～300m）に調査定点を設定し、海洋調査船「平安丸」（191ト）により、かご縄^{*}を用いた試験操業を実施。試験操業では5航海（1泊2日/1航海、11点：定点4～14）で、延べ244かごを使用。

※かご縄：魚の切り身などの餌を付けた「かご」を海に沈めてカニを獲る漁法



(2) 調査年月日

令和6年8月21日～令和6年9月19日（5航海：延べ10日実施）

(3) 調査結果

本年の調査結果（10かごあたりの採捕尾数）は以下のとおりです。

雄ガニ（甲幅9cm以上）：**35.6尾**（直近5か年平均比：**156%**）

雌ガニ（セコガニ、こっぺ）：**97.9尾**（同：**184%**）

ズワイガニの採捕状況（10かご当たりの尾数）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	直近5年平均
雄ガニ （甲幅9cm以上）	15.0尾	17.8尾	14.4尾	30.2尾	28.9尾	35.6尾	22.8尾
雌ガニ （こっぺ）	41.7尾	64.9尾	53.7尾	65.4尾	28.8尾	97.9尾	53.2尾

2 巡視艇での取材について

初漁当日にらくように乗船して、巡視の様子や初漁の現場を取材いただけます。（先着2名）

取材を希望される場合は、11月1日（金曜日）午後5時までに京都府水産事務所へご連絡ください。（電話：0772-22-4438）

<スケジュール等>※詳細は別紙のとおり

日時：11月5日（火）午後8時～11月6日（水）午前6時

※希望により途中下船可能。天候により延期又は中止の場合あり。
乗船場所：京都府水産事務所岸壁（宮津市字小田宿野）

【参考】

○前年（令和5年）漁期の水揚実績

雄ガニ	35.9 t	4億 900万円	@11,367円/kg
雌ガニ	21.9 t	1億 円	@ 4,548円/kg
計	57.9 t	5億 800万円	（四捨五入の関係で一致しない）

○初漁について

令和6年11月6日（水）午前0時に解禁され、同日に初競り

府内漁船：京都府漁協所属の底びき網漁船10隻

水揚予定港：舞鶴漁港（舞鶴市字下安久）

間人漁港（京丹後市丹後町間人）

浅茂川漁港（京丹後市網野町浅茂川）

【本報道発表に関するお問合せ】

（資源調査について）

京都府農林水産技術センター海洋センター

研究部 主任研究員 ^{ひさだ}久田 TEL 0772-25-3076

（巡視艇乗船取材について）

京都府水産事務所 漁政課 課長補佐 ^{ひろおか}廣岡 TEL 0772-22-4438

（初競りについて）

京都府漁協 販売部 部長 ^{なかにし}中西 TEL 0773-75-1111



漁業巡視艇「らくよう」乗船スケジュール

日	時	巡視内容	備考	
11月5日	午後7時半	乗船場所（宮津市小田宿野）に集合	府内及び府外漁船の巡視	
	午後8時	同行取材者が乗船完了、出港		
	午後11時	経ヶ岬沖合西方の漁場に到着、巡視開始		
11月6日	午前0時	ズワイガニ漁解禁		
	(午前2時)	一旦漁場を離れ、水産事務所向け航行		
	(午前3時)	一時帰港、途中下船希望者は下船、再出港		途中下船可能です
	午前4時	経ヶ岬沖合から東方の漁場で他県漁船を巡視		主として府外漁船を巡視
	午前5時	巡視終了、水産事務所向け帰港		
	午前6時	水産事務所帰港、解散		

※ スケジュールは概略であり、変更となる場合があります。

※ 6日午前3時頃に途中下船も可能ですが、希望がなければ一時帰港せず巡視を継続します。

※ 乗船定員に制限があるため、御希望多数の場合は先着順とさせていただきます。悪天候等の場合、延期又は中止とする場合があります。

乗下船場所の概略図 自動車は水産事務所敷地内の空きスペースに駐車し、施錠をお願いします。



漁業巡視艇「らくよう」の概要

竣工年月：平成27年2月

総トン数：60トン

定員：13名（乗組員6名、その他7名）

速度：38ノット（70km/時）以上